

性能評価用提出図書（別添）作成要領

＜耐火構造＞
（壁用）

～作成にあたっての注意事項～

- 1) 本書類は、性能評価用提出図書（別添）です。
- 2) 図書サイズは、特に指定されたもの以外はA4判としてください。
- 3) 様式指定のあるものは、指定どおりの様式を用いてください。
- 4) 原則として文字は全てワープロ打ち（MS明朝体・サイズは10ポイント、数字、単位は半角文字）とし、図面等は鮮明なものとしてください。（ワープロソフトは原則としてMS-WORDを使用してください）

打合せ担当者との打合せに基づいて記載入してください。
わからない場合は一般名称でも構いませんが、
商品名は記入しないでください。

1. 構造名

〇〇充てん/〇〇塗装〇〇表張/〇〇裏張/〇〇造外壁

2章～3章に関しては6章と自動リンクしているため、
編集作業は不要です。(編集不可のロックをしています。)
4章構造説明図以降の作成をお願いいたします。

2. 寸法および形状等

(寸法単位：mm)

項目	仕様
壁高さ	構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法とする
壁厚	〇〇以上

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項目	仕様								
<p>[1] 柱 (荷重支持部材)</p>	<p>柱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 <ul style="list-style-type: none"> (1)～(4)のうち、いずれか一仕様する (1)平成12年建設省告示第1452号に規定する構造用製材(JAS) (2)平成13年国土交通省告示第1024号に規定する構造用集成材(JAS) (3)平成13年国土交通省告示第1024号に規定する単板積層材(JAS) (4)平成12年建設省告示第1452号に規定する無等級材 ・寸法 〇〇×〇〇の断面寸法以上 ・密度 〇〇g/cm³以上 								
<p>[2] 間柱</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・材質 木 ・種類 <ul style="list-style-type: none"> (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1)製材 (2)集成材 (3)単板積層材 ・断面形状 〇〇×〇〇の断面寸法以上 ・間隔 〇〇以下 								
<p>[3] 外装材</p>	<p>[1] 基材 窯業系サイディング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組成(質量%) <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>〇〇〇</td><td>**</td></tr> <tr><td>〇〇〇</td><td>**</td></tr> <tr><td>〇〇〇</td><td>**</td></tr> <tr><td>〇〇〇</td><td>**</td></tr> </table> <p>[2] 表面塗装</p>	〇〇〇	**	〇〇〇	**	〇〇〇	**	〇〇〇	**
〇〇〇	**								
〇〇〇	**								
〇〇〇	**								
〇〇〇	**								

項目	仕様
	<p>(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) アクリル系樹脂</p> <p>(2) ○○</p> <p>(3) ○○</p> <p>・塗布量 ○○g/m²以下 (有機質量○○g/m²以下)</p> <p>[3]かさ比重 ○○</p> <p>[4]形状</p> <p>[4]-1 外形寸法</p> <p>・厚さ ○○以上</p> <p>・幅(働き幅) ○○～○○</p> <p>・長さ(働き長) ○○～○○</p> <p>[4]-2 端部形状</p> <p>・重なり ○○</p> <p>・隙間 ○○</p> <p>[4]-3 断面形状</p> <p>・最小厚さ ○○以上</p> <p>・容積欠損率 ○○～○○</p> <p>[5]張方 横張</p> <p>[6]留方 くぎ留め</p>
4 断熱材	<p>グラスウール</p> <p>(平成12年建設省告示第1400号)</p> <p>・厚さ ○○以上</p> <p>・密度 ○○kg/m³以上</p>
5 内装材	<p>せっこうボード(JIS A 6901)</p> <p>・厚さ ○○以上</p> <p>・端部形状</p> <p>(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) スクエア</p> <p>(2) テーパー</p> <p>(3) ベベル</p>
6 ○○○○	認定仕様を記入してください

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
7〇〇〇	認定仕様を記入してください
8〇〇〇	認定仕様を記入してください
9〇〇〇	認定仕様を記入してください
10〇〇〇	認定仕様を記入してください

2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項目	仕様
①シーリング材	・材質 ○○系樹脂 ・使用量 ○○g/m 以上
②透湿防水シート	・材質 ○○系樹脂 ・厚さ ○○以下 ・使用量 ○○g/m 以下 (有機質量○○g/m ² 以下)
③防水紙	・材質 ○○系樹脂 ・厚さ ○○以下 ・使用量 ○○g/m 以下 (有機質量○○g/m ² 以下)
④留付材	[1]外装材固定用 ・材質 ○○ ・形状 ○○ ・間隔 ○○以下 [2]外装材留付金具 固定用くぎ ・材質 ○○ ・寸法 φ○○以上×L○○以上 ・間隔 ○○以下 [3]内装材固定用くぎ ・材質 ○○ ・寸法 φ○○以上×L○○以上 ・間隔 ○○以下
⑤目地処理材	・材質 ○○系樹脂 ・規格 ○○ ・使用量 ○○g/m 以上
⑥○○○	認定仕様を記入してください
⑦○○○	認定仕様を記入してください
⑧○○○	認定仕様を記入してください
⑨○○○	認定仕様を記入してください
⑩○○○	認定仕様を記入してください

4. 構造説明図

(寸法単位：mm)

<透視図>

各種図面(透視図、断面図)を追加してください。

- ・「2. 形状及び寸法等」で記載されている各寸法、及び「3. 材料構成」で記載されている各材料がどの部分にどのような方法で使われているか分かりやすく図示して下さい。
- ・仕様の構造が複数ある場合は、それぞれの図面に添付して下さい。
- ・評価を行う上で重要な部分の詳細図を記載して下さい。
- ・図面中の材料名は「3. 構成材料」中の「項目」に合わせて記載して下さい。

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

(寸法単位：mm)

<断面図>

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり
※：本評価内容に含まない

5. 施工方法等

<施工図>

4. 構造説明図と同じ

<施工手順>

- 1) ○○○の取付け
 - ・取付け方法
 - ・留付け材の種類や間隔
 - ・施工時の注意事項

2) □□□の取付け

- ・
- ・
- ・

3) □□□の取付け

- ・
- ・
- ・

4) □□□の取付け

- ・

申請される構造の施工手順を記載して下さい。
また、寸法等は極力記載しないで下さい。

性能評価用提出図書（別紙） 作成のお願い

<耐火構造>
(壁用)

～作成にあたっての注意事項～

- 1) 本書類は、性能評価用提出図書（別添）の試験体の選定理由部分です。
評価作業を効率よく実施するため、性能評価用提出図書（別紙）作成をお願いしています。当法人打合せ担当者との事前打合せ内容に基づいて記入してください。
- 2) 図書サイズは、特に指定されたもの以外はA4判としてください。
- 3) 様式指定のあるものは、指定どおりの様式を用いてください。
- 4) 原則として文字は全てワープロ打ち（MS明朝体・サイズは 10.0ポイント、数字、単位は半角文字）とし、図面等は鮮明なものとしてください。（ワープロソフトは原則としてMS-WORDを使用してください）
- 5) 大臣認定に係る性能評価は、申請構造の仕様に対する評価であるため、「商品名」は記載しないでください。

6. 評価方法
6-1. 試験体の選定
1. 寸法および形状

申請される構造の仕様を仕様欄に全て記載してください。

打合せ担当者との事前打合せ内容に基づいて記入して下さい。

(寸法単位：mm)

項目	試験体の構造	仕様	試験体の選定理由
壁高さ	3000	構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法とする	当法人が制定した「防耐火性能試験・評価業務方法書」(以下、「方法書」)に基づく
壁厚	〇〇	〇〇以上	遮熱性上不利となる最小

試験体に選定された構造を記載してください。
数値は全て確定値(以上、以下、±等の表記は不可)で記載して下さい。
また、別途作成いただく製作チェックリストはこの欄をそのままコピーして作成願います。

2. 材料構成
1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項目	試験体の構造	仕様	試験体の選定理由
1 柱 (荷重支持部材)	柱 ・材質 平成 13 年国土交通省告示第 1024 号に規定する構造用集成材(JAS)	柱 ・材質 (1)~(4)のうち、いずれか一仕様とする (1)平成 12 年建設省告示第 1452 号に規定する構造用製材(JAS) (2)平成 13 年国土交通省告示第 1024 号に規定する構造用集成材(JAS) (3)平成 13 年国土交通省告示第 1024 号に規定する単板積層材(JAS) (4)平成 12 年建設省告示第 1452 号に規定する無等級材 ・寸法 〇〇×〇〇の断面寸法以上 ・密度 〇〇g/cm ³ 以上	・非損傷性上同等の性能を有するため一般的な(2) ・寸法、密度 非損傷性上不利となる最小
2 間柱	・材質 木(スギ) ・種類 〇〇 ・形状 〇〇×〇〇 ・間隔 〇〇	・材質 木 ・種類 (1)~(3)のうち、いずれか一仕様とする (1)製材 (2)集成材 (3)単板積層材 ・断面形状 〇〇×〇〇の断面寸法 ・間隔 〇〇以下	・材質、種類 仕様と同じ ・非損傷性上不利となる最小 ・非損傷性上不利となる最大

主構成材料の部材名の頭文字は□と項目順番号を記入してください。

仕様が複数存在する場合、「(*)~(*)のうち、いずれか一仕様とする」と記載して下さい。

(寸法単位：mm)

項目	試験体の構造	仕様	試験体の選定理由
3 外装材	<p>[1] 基材 窯業系サイディング</p> <p>・組成(質量%)</p> <p>○○○ ** ○○○ ** ○○○ ** ○○○ **</p> <p>[2] 表面塗装</p> <p>アクリル系樹脂</p> <p>・塗布量 ○○○g/m² (有機質量○○g/m²)</p> <p>[3] かさ比重 ○○ (気乾、実測値)</p> <p>[4] 形状</p> <p>[4]-1 外形寸法</p> <p>・長さ ○○</p> <p>・幅(働き幅) ○○</p> <p>・長さ(働き長) ○○</p> <p>[4]-2 端部形状</p> <p>・重なり ○○</p> <p>・隙間 ○○</p> <p>[4]-3 断面形状</p> <p>・最小厚さ ○○</p> <p>・容積欠損率 ○○</p> <p>[5] 張方 横張</p> <p>[6] 留方 くぎ留め</p>	<p>[1] 基材 窯業系サイディング</p> <p>・組成(質量%)</p> <p>{ ○○○ ** ○○○ ** ○○○ ** ○○○ **</p> <p>[2] 表面塗装</p> <p>(1)~(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)アクリル系樹脂</p> <p>(2)○○</p> <p>(3)○○</p> <p>・塗布量 ○○○g/m²以下 (有機質量○○g/m²以下)</p> <p>[3] かさ比重 ○○</p> <p>[4] 形状</p> <p>[4]-1 外形寸法</p> <p>・長さ ○○以上</p> <p>・幅(働き幅) ○○~○○</p> <p>・長さ(働き長) ○○~○○</p> <p>[4]-2 端部形状</p> <p>・重なり ○○</p> <p>・隙間 ○○</p> <p>[4]-3 断面形状</p> <p>・最小厚さ ○○以上</p> <p>・容積欠損率 ○○~○○</p> <p>[5] 張方 横張</p> <p>[6] 留方 くぎ留め</p>	<p>[1]</p> <p>・仕様と同じ</p> <p>[2]</p> <p>発熱量が多く遮熱性上不利となる(1)</p> <p>・遮熱性上不利となる最大</p> <p>[3]</p> <p>仕様と同じ</p> <p>[4]</p> <p>[4]-1</p> <p>・長さ、幅(働き幅)遮熱性上不利となる最小</p> <p>・間柱間隔による最小</p> <p>[4]-2</p> <p>・重なり、隙間遮熱性上不利となる最小</p> <p>[4]-3</p> <p>・遮熱性上不利となる最小</p> <p>・遮熱性上不利となる最大</p> <p>[5]</p> <p>仕様と同じ</p> <p>[6]</p> <p>仕様と同じ</p>
4 断熱材	<p>グラスウール</p> <p>・長さ ○○</p> <p>・密度 ○○○kg/m³</p>	<p>グラスウール (平成 12 年建設省告示第 1400 号)</p> <p>・長さ ○○以上</p> <p>・密度 ○○○kg/m³以上</p>	<p>・遮熱性上不利となる最小</p> <p>・遮熱性上不利となる最小</p>

(寸法単位：mm)

項目	試験体の構造	仕様	試験体の選定理由
5内装材	せっこうボード (JIS A 6901) ・厚さ ○○ ・端部形状 べベル	せっこうボード(JIS A 6901) ・厚さ ○○以上 ・端部形状 (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1)スクエア (2)テーパ (3)べベル	・遮熱性上不利となる 最小 ・遮熱性上不利となる(3)
6○○○	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください
7○○○	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください
8○○○	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください
9○○○	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください
10○○○	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください

2) 副構成材料

シーリング材や留付材などの副構成材料を記載してください。

副構成材料の部材名の頭文字は○で記入してください。

(寸法単位：mm)

項目	試験体の構造	仕様	試験体の選定理由
①シーリング材	<ul style="list-style-type: none"> 材質 ○○系樹脂 使用量 ○○g/m 	<ul style="list-style-type: none"> 材質 ○○系樹脂 使用量 ○○g/m 以上 	<ul style="list-style-type: none"> 仕様と同じ 遮熱性上不利となる最小
②透湿防水シート	<ul style="list-style-type: none"> 材質 ○○系樹脂 厚さ ○○ 使用量 ○○g/m (有機質量○○g/m²) 	<ul style="list-style-type: none"> 材質 ○○系樹脂 厚さ ○○以下 使用量 ○○g/m 以下 (有機質量○○g/m² 以下) 	<ul style="list-style-type: none"> 仕様と同じ 厚さ、使用量遮熱性上不利となる最大
③防水紙	<ul style="list-style-type: none"> 材質 ○○系樹脂 厚さ ○○ 使用量 ○○g/m (有機質量○○g/m²) 	<ul style="list-style-type: none"> 材質 ○○系樹脂 厚さ ○○以下 使用量 ○○g/m 以下 (有機質量○○g/m² 以下) 	<ul style="list-style-type: none"> 仕様と同じ 厚さ、使用量遮熱性上不利となる最大
④留付材	<p>[1]外装材固定用</p> <ul style="list-style-type: none"> 材質 ○○ 形状 ○○ 間隔 ○○ <p>[2]外装材留付金具固定用くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> 材質 ○○ 寸法 φ○○×L○○ 間隔 ○○ <p>[3]内装材固定用くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> 材質 ○○ 寸法 φ○○×L○○ 間隔 ○○ 	<p>[1]外装材固定用</p> <ul style="list-style-type: none"> 材質 ○○ 形状 ○○ 間隔 ○○以下 <p>[2]外装材留付金具固定用くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> 材質 ○○ 寸法 φ○○以上×L○○以上 間隔 ○○以下 <p>[3]内装材固定用くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> 材質 ○○ 寸法 φ○○以上×L○○以上 間隔 ○○以下 	<p>[1]</p> <ul style="list-style-type: none"> 材質、形状仕様と同じ 非損傷性上不利となる最大 <p>[2]</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕様と同じ 非損傷性上不利となる最小 非損傷性上不利となる最大 <p>[3]</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕様と同じ 非損傷性上不利となる最小 非損傷性上不利となる最大
⑤目地処理材	<ul style="list-style-type: none"> 材質 ○○系樹脂 規格 ○○ 使用量 ○○g/m (有機質量○○g/m²) 	<ul style="list-style-type: none"> 材質 ○○系樹脂 規格 ○○ 使用量 ○○g/m 以上 	<ul style="list-style-type: none"> 仕様と同じ 遮熱性上不利となる最大 遮熱性上不利となる最小
⑥○○○	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください
⑦○○○	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください
⑧○○○	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください

(寸法単位：mm)

項 目	試験体の構造	仕 様	試験体の選定理由
⑨〇〇〇	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください
⑩〇〇〇	試験体の構造を記入してください。	認定仕様を記入してください	試験体選定理由を記入してください

6-2. 試験方法

- ・試験は、6-1 に示した試験体について、方法書「4.2 準耐火性能試験・評価方法」に基づき〇〇分準耐火性能試験を実施した。

6-3. 試験の結果

[屋外側加熱]

[準耐火性能試験] (加熱〇〇分)

- (1) 試験体の最大軸方向収縮量および最大軸方向収縮速度が、次の値以下であった。

最大軸方向収縮量(mm): $h/100$

最大軸方向収縮速度(mm /分): $3h/1000$

h : 試験体初期高さ

- (2) 試験体の裏面温度上昇が規定値(平均で140K以下, 最高で180K以下)を満足した。
- (3) 非加熱側へ10秒を超えて継続する火炎の噴出がなかった。
- (4) 非加熱面で10秒を超えて継続する発炎がなかった。
- (5) 火炎が通る亀裂等の損傷及び隙間を生じなかった。

[屋内側加熱]

[準耐火性能試験] (加熱〇〇分)

- (1) 試験体の最大軸方向収縮量および最大軸方向収縮速度が、次の値以下であった。

最大軸方向収縮量(mm): $h/100$

最大軸方向収縮速度(mm /分): $3h/1000$

h : 試験体初期高さ

- (2) 非加熱側へ10秒を超えて継続する火炎の噴出がなかった。
- (3) 非加熱面で10秒を超えて継続する発炎がなかった。
- (4) 火炎が通る亀裂等の損傷及び隙間を生じなかった。

6-4. 評価の結果

本性能評価の仕様は、方法書に基づき管理値を考慮した上で評価した。

7. 申請者連絡先

会社名 :

所在地 :

電 話 : |

連絡先を記載して下さい。